

職員による自己評価

A環境面
 年齢による適正な使い方が出来ている。
 活動内容に合わせて使い分けが出来ている

B児童への支援内容
 常勤が構築し非常勤が協力する
 全従業員が参加したい

C関係機関との連携
 学校との関係は良好

D保護者への説明責任・信頼関係
 保護者様より沢山の相談を受けることが多い
 お子さんの成長について一緒に協力して支援
 を行えていると感じる

E非常対応
 毎月1回避難訓練を実施してる
 いろいろな想定を行い子どもたちと一緒に学
 ぶ練習を職員も一緒に行う

保護者による評価

A環境面
 特になし

B児童への支援内容
 毎日楽しみにしている
 もえぎに行くため学校へも行けている

C事業所からの情報発信
 公式ライン・電話・口頭などで細かく発信頂
 けるので満足している

D非常対応
 特になし

事業所内での分析

【共通点】

信頼関係に関しては互に相談を頂けているので一緒に成長を協力できる関係性が出来ているのではないかと感じている。

職員の年齢も様々なため、保護者様も相談相手が沢山いる職員が多いのではないかと思います。
 ライフスタイルも様々な中、公式ライン・電話・口頭等、相談できるツールを沢山ご用意している事もあり、相談しやすい環境なのではないかと感じる。

【相違点】

保護者会や各機関との交流に関して職員からの要望はあるが保護者様からの要望は少ない

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・いつでも相談できる環境
保護者様も様々な生活環境があるため、手軽に相談できるツールがある
- ・相談できる相手
保護者様や職員の年齢も様々なこともあり、相談できる職員が多くいる
- ・学校様との連携
学校の宿題や困り事などは随時デイでも一緒になって解決を行っている
- ・立地
団地内にあることから公園が沢山ある
子どもたちの体を動かしたいとの要望にすぐに応えられる

事業所の改善点

- ・バリアフリー化
賃貸物件の為、大きな改善は行えないが小さな段差の解消等を行える。
ニーズがいまのところないが、準備をする機会をとらえて改善を行う

事業所の改善への取り組み

- ・バリアフリー化
近隣に支援学校が徒歩5分以内にある。
現在、バリアフリーへの要望はない
実際、ご利用者様にバリアフリーが必要なお子さんが多くご利用いただいている
地域の中で支援できることを目標に小さなバリアフリー化を行いたいと考える
どなたでも気軽に利用できるデイサービスを目指していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度、小さなお子さんが沢山ご利用をスタートしています。

保護者様も不安を喜びが多い時期かと思えます。

小さなことから相談に乗っていきたいと私たちは考えています。

一緒に子育てを行う協力者になれたらと思いつつ日々、子どもたちの成長を感じております。

まだまだ私たち従業員も学ぶことが沢山ですが保護者様や各機関の担当者と連携を行いながら

その子にとって最高の支援を提供できるように努力して参ります！

事業所名 旭もえぎ

担当者 後藤恵